

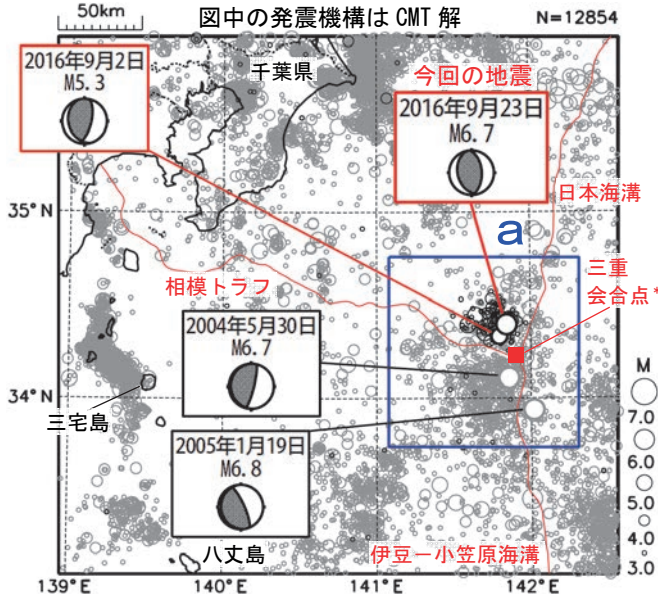
## 9 月 23 日 関東東方沖の地震

震央分布図

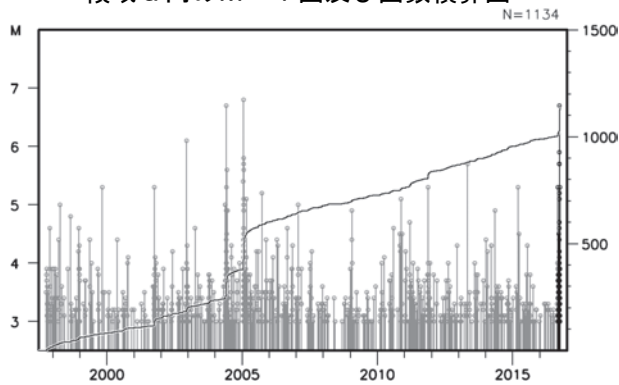
(1997 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$ )

2016 年 9 月の地震を濃く表示

図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

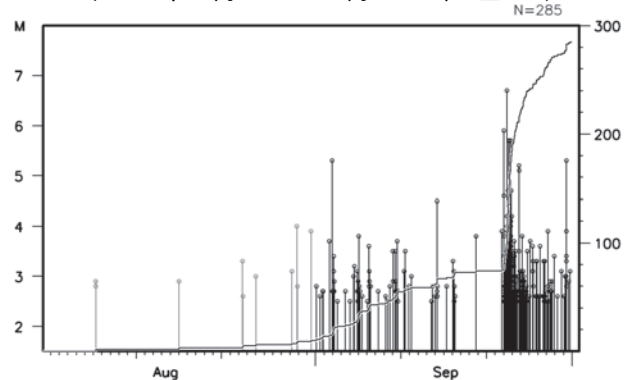


2016 年 9 月 23 日 09 時 14 分に関東東方沖 (プレート三重会合点\*付近) の深さ 15km (CMT 解による) で M6.7 の地震 (最大震度 1) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震により、八丈島八重根の巨大津波観測計 (観測単位は 0.1 m) で高さ 0.2m の津波を観測した。今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、9 月になってから地震活動が活発になっていて、9 月 2 日には M5.3 の地震が発生している。この地震を含め、9 月 30 日までに M5.0 以上の地震が 9 回発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、領域 a 内では、M6.0 以上の地震が時々発生している。このうち、2005 年 1 月 19 日に発生した M6.8 の地震 (最大震度 1) では、三宅島坪田で高さ 39cm の津波を観測した。

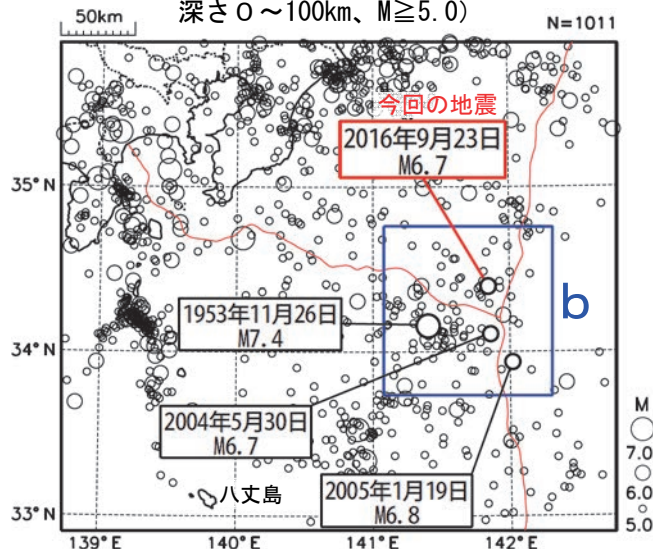
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

(2016 年 8 月 1 日～9 月 30 日、 $M \geq 2.5$ )



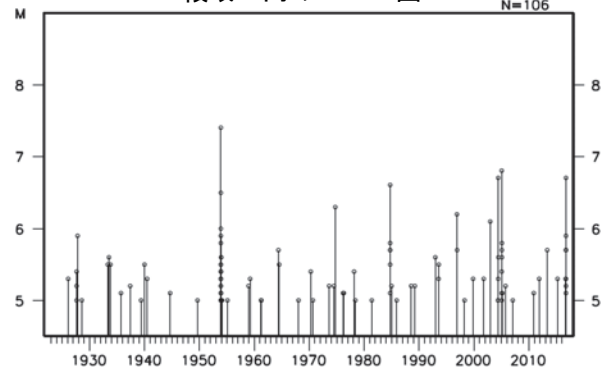
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 9 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。このうち 1953 年 11 月 26 日に発生した M7.4 の地震 (最大震度 5) では、八丈島八重根で高さ 150cm の津波が観測されたほか、北海道地方から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波が観測された。

領域 b 内の M-T 図



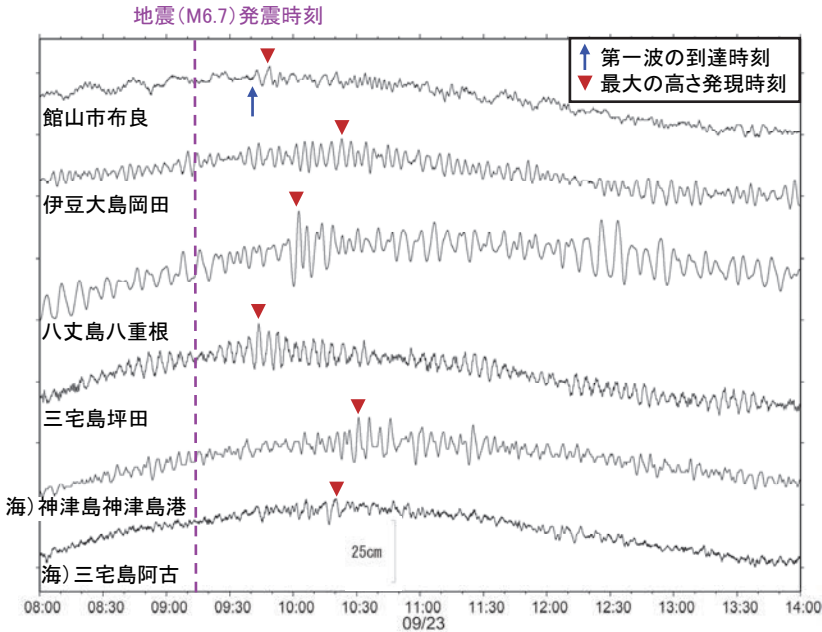
\* 三重会合点：三つのプレートが一点で接する場所。房総半島の南東約 150km 沖では、日本海溝、伊豆-小笠原海溝、相模トラフが交わる海溝-海溝-海溝型の三重点がある。

## 9 月 23 日 関東東方沖の地震による津波

津波観測施設の津波観測値

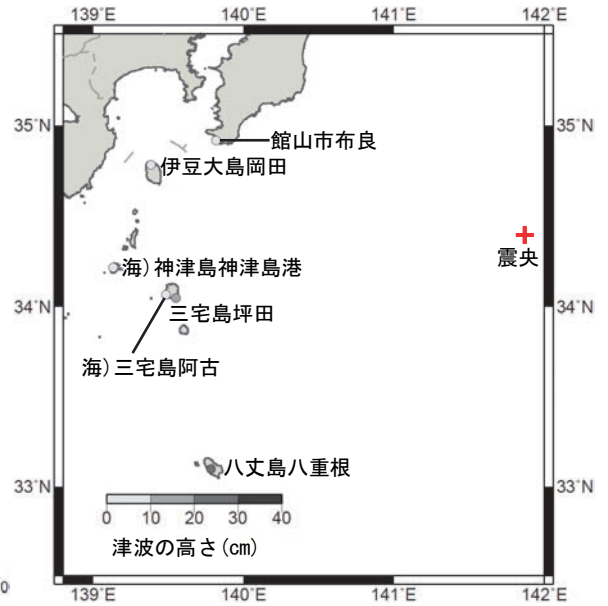
都道府県	観測地点	所属	第一波	最大の高さ	
			到達時刻	発現時刻	高さ(cm)
千葉県	館山市布良	気象庁	9時40分	9時48分	4
東京都	伊豆大島岡田	気象庁	—	10時23分	7
	三宅島坪田	気象庁	—	9時43分	10
	神津島神津島港	海上保安庁	—	10時31分	8
	三宅島阿古	海上保安庁	—	10時19分	5
	八丈島八重根*1	気象庁	—	10時02分	0.2m

※ 本資料では、津波情報で発表する観測点名称を用いている。  
 ※ 値は後日変更される場合がある。  
 ※ — は値が決定できないことを示す。  
 \*1 巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。



津波観測施設の津波波形

※ 海) は海上保安庁、無印は気象庁の観測点。



各津波観測施設で観測した津波の最大の高さ

※ 海) は海上保安庁、無印は気象庁の観測点。

